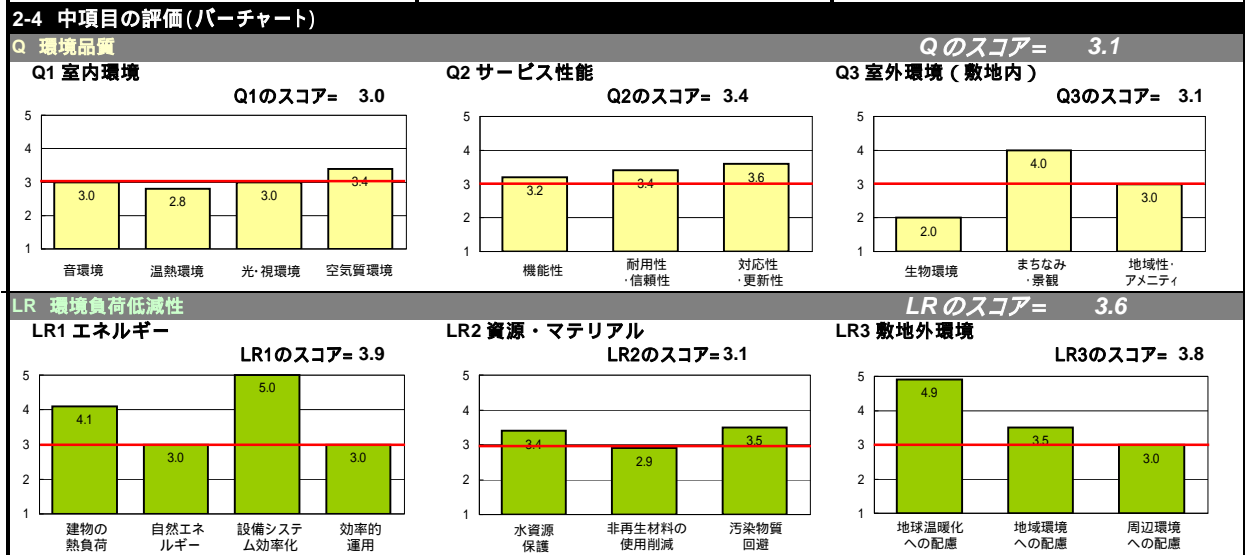
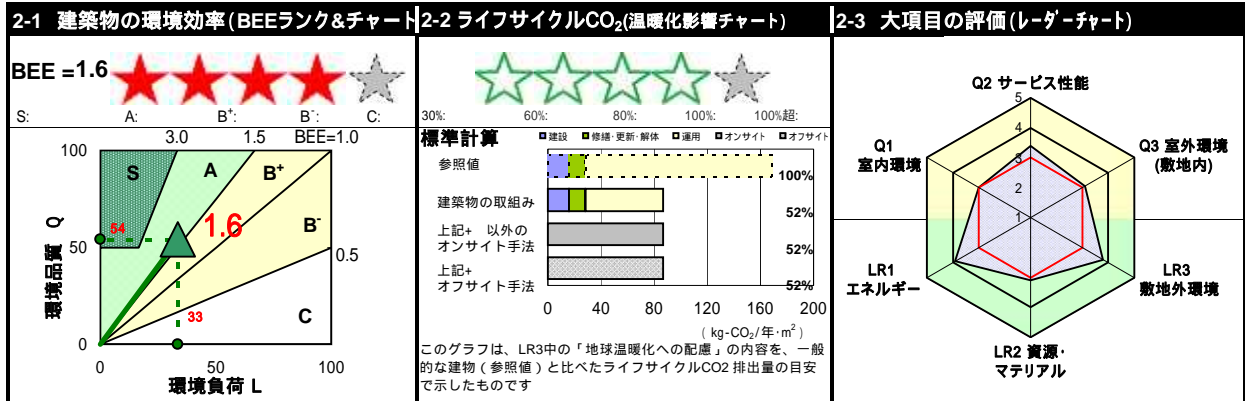


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマサ・カインズ 大井町店	階数	地上2F
建設地	足柄上郡大井町上大井字大縄下12	構造	S造
用途地域	準住居地域	平均居住人員	2,000 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2012年2月 竣工	評価の実施日	2012年3月1日
敷地面積	13,603 m ²	作成者	佐藤建築環境研究所
建築面積	8,330 m ²	確認日	2012年3月6日
延床面積	9,612 m ²	確認者	佐藤建築環境研究所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
ショッピングセンターとして、華やかな装飾はせずコストを抑えるため、必要な仕様の材料を使用し無駄のない環境設計を目指す。	
Q1 室内環境 ・食品売場は衛生的に、問題のない環境を整える。 ・室内温度制御、冷暖房の負荷低減、有窓階として、昼光の取入れに努める。 ・室内換気を確保し、清潔な室内環境を整える。	Q2 サービス性能 高齢者等、バリアフリーに対応した施設づくりを心がけ、エントランスホール・ELVホール等の共用スペースや授乳室を設け、お客様の要望に対応した施設づくりを目指す。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷(PAL)の抑制、自然エネルギーの活用、自然通風、自然採光、自然換気を取入れ、屋上緑化等を設ける。(敷地面積の15%の緑地を確保) 近隣環境に対してやさしい施設づくりを目指す。	LR2 資源・マテリアル 法で定められた有害物質となる材料は使用しない。また雨水(中水)等の再利用も行わない。 リサイクル材の使用は、安価なものに限る。 F の製品を使用する。
	Q3 室外環境 (敷地内) 振動、騒音、粉塵対策として、室外機の位置をできるだけ中央部屋外に集めて、防音壁を立ち上げ、近隣にできるだけ影響を与えないように配慮する。 また建物の高さを抑えて、近隣への圧迫感を和らげる。
	LR3 敷地外環境 「みどりの協定」で、敷地面積の15%の緑地を確保し、雨水貯留槽を3ヶ所設けて、敷地内で一度雨水を貯めてから、時間をかけて少しずつ敷地外にながす。 ライフサイクルコストの低減に努める。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい